



NEW

県立病院ニュース

新潟県

～病院に関係する全ての人から信頼される病院を目指して～

第153号 令和3年3月 病院局発行

令和元年度の取組状況に対する客観的評価

このたび、県立病院経営委員会から「新潟県病院事業の取組方針」の令和元年度取組状況に対する客観的評価の報告がありました。

評価結果を踏まえ、持続可能な医療提供体制を確保していくため、県立病院が果たすべき役割に重点化を図りつつ、昨年度取りまとめた経営改善に関する緊急的な取組を着実に進めていきます。

評価項目	自己評価		客観的評価	評価基準	自己評価	客観的評価(案)
	平均点	評価ランク	判定			
1. 医療機能等に関する事項						
① 県民から信頼される病院づくり調査	1.0	C	△	十分な成果がある	S	◎
一番身近に感じる県立病院の信頼性						
うち過去3年以内利用者の信頼性						
病病連携・病診連携の対応への満足度(医師)						
病院機能評価認定病院数				一定の成果がある	A	○
② 研修教育機能[基幹型臨床研修病院]	1.7	B	○	成果はあるがまだ不十分	B	△
次年度初期臨床研修医採用予定者数						
学生等の病院実習受入数						
学生等の病院見学受入数						
2. 収益的収支に関する事項						
① 経営指標の状況(医業収支比率)	1.0	C	△	※「客観的評価」については、表にある自己評価に基づく客観的評価(案)を標準として、経営委員会で審議の上、決定するので、表と異なる場合がある。		
② その他経営指標の状況	1.8	B	△			
経常収支比率						
病床利用率						
職員給与費対医業収益比率						
入院診療単価						

3. 総合評価(委員会コメント)

<経営改善>

・今回の新型コロナウイルス感染症の蔓延に対し、特に地方において患者の外来・入院の主体となっているのは公立・公的病院である。政策医療、不採算医療に対する繰入金は必須であり、繰入後の収支が大幅な赤字にならないよう、持続可能な経営状態を維持していく必要がある。

・現在の診療報酬体系では、急性期の患者を多く引き受けている広域基幹病院は黒字になる可能性があるが、中小病院は繰入金が入ってもなかなか黒字にはならないのが一般的である。個々の病院の分析を行いつつ、基幹病院はできる限り診療報酬上の加算を獲得して黒字幅を増やす一方、赤字病院は可能な限り赤字幅を少なくする努力が必要である。

・純損益は前年度比約4億6千万円の改善となったものの、依然として約13億4千万円の赤字となっており、厳しい経営状況に変わりはないことから、引き続き、徹底した経営改善及び県立病院の役割・あり方の見直しにより、将来、予測される内部留保資金の枯渇を回避されたい。

<県立病院の役割・あり方>

・今後、新潟県病院事業の取組方針については新潟県地域医療構想や医師の働き方改革への対応を考えていく必要がある、特に地域医療病院については救急告示を返上し、在宅医療に集中すること等も検討する必要があるのではないか。

・専門病院については、その規模が県立病院として妥当な規模か、またその機能を県立病院が持つ必要があるか否かは議論すべきである。

・県立病院の役割・あり方の見直しについて、地元市町村と持続可能な医療提供体制の具体的な姿を話し合うことが重要であり、丁寧に意見交換を重ねながら、取組を推進されたい。

令和2年度住民ニーズ調査 結果概要

調査概要

- (1)調査対象：県立病院の圏域内に居住する満18歳以上の男女個人
(精神、リウマチを除く)
- (2)抽出方法：各市町村の選挙人名簿からの系統無作為抽出
- (3)調査方法：郵送調査
- (4)調査期間：R2.9.29～10.12
- (5)回答者数：2,716人（回収率52.2%） ※R1：2,320人（回収率44.6%）

調査結果

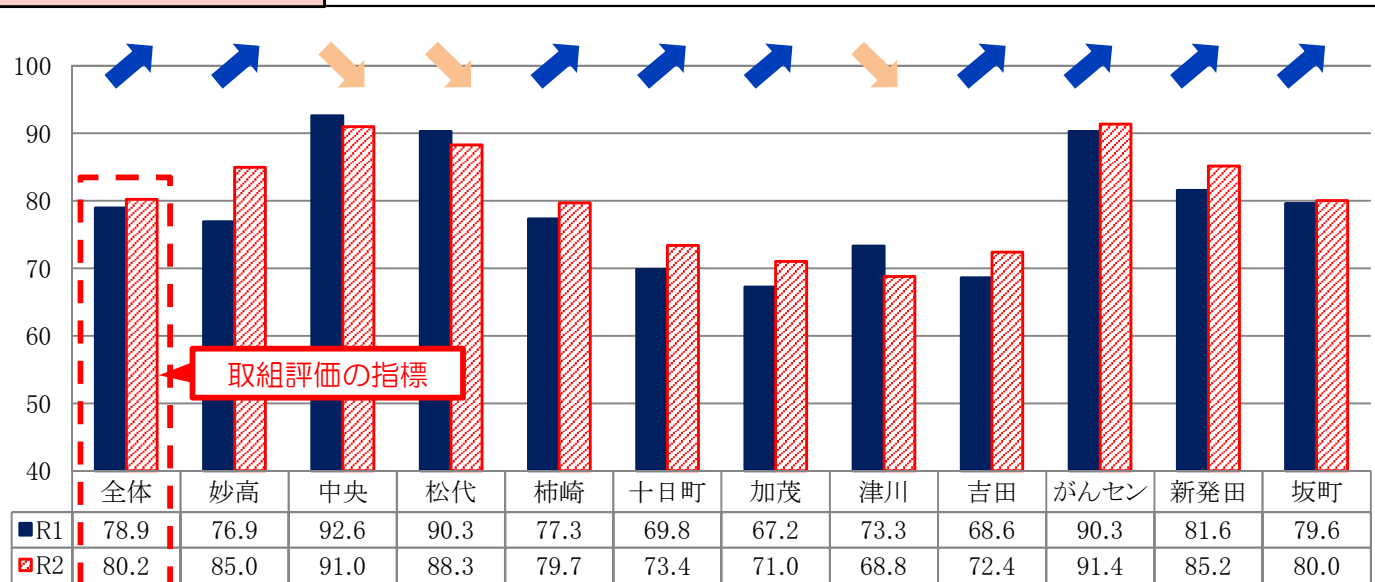
【信頼度】

全体の信頼度は、**80.2%**(R1：78.9%)と、前年度に比べ**上昇**しました。
病院別では、11病院中8病院で上昇しました。

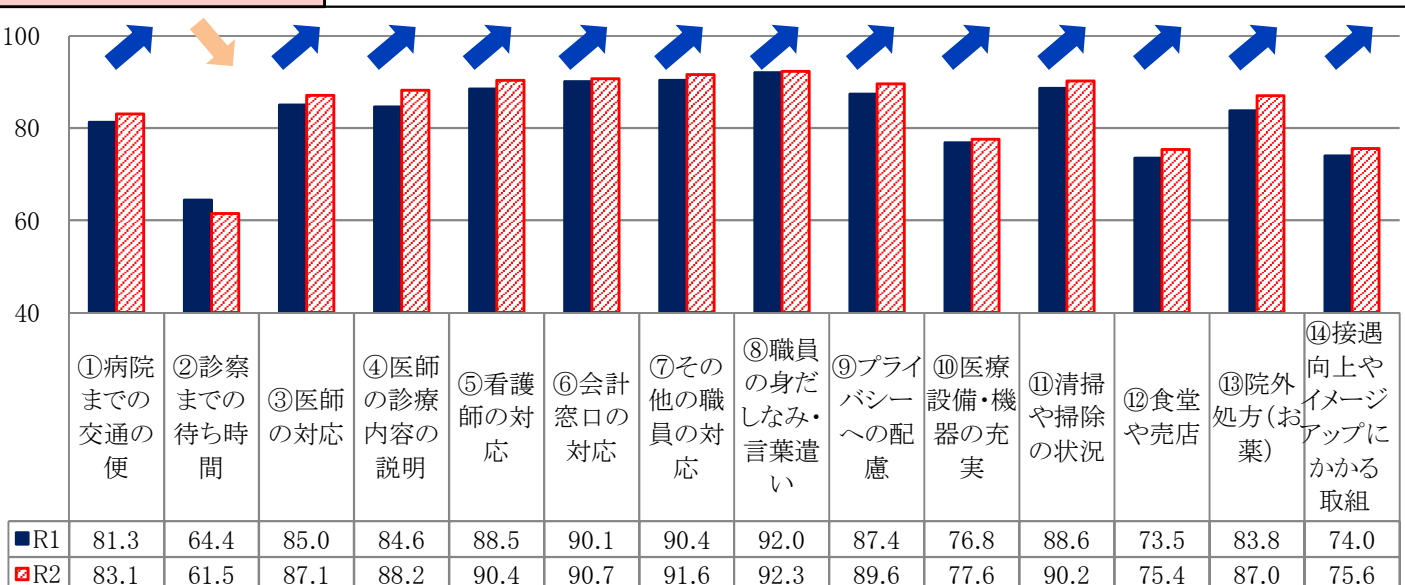
【満足度】

項目別では、14項目中13項目で**上昇**しており、最も高いのは、「職員の身だしなみ・言葉遣い」(92.3%)で、最も低いのは「診察までの待ち時間」(61.5%)となりました。

住民からの信頼度



住民からの満足度



令和2年度医療関係者調査 結果概要

調査概要

- (1)調査対象：県立病院との連携業務に従事している医療機関の医師、県内市町村の保健師
県立病院への救急搬送業務に従事している県内消防本部の救急隊員
- (2)調査方法：郵送調査
- (3)調査期間：R2.9.29～10.12
- (4)回答者数：医師278人（回収率69.2%） 保健師34人（回収率56.7%）
救急隊員36人（回収率94.7%）

調査結果

【医師の満足度】

医師の信頼度は、5項目中4項目で**上昇**しました。最も高いのは、「**病病連携・病診連携の対応**」(92.7%)で、最も低いのは「**逆紹介への評価**」(86.9%)となりました。

【保健師の満足度】

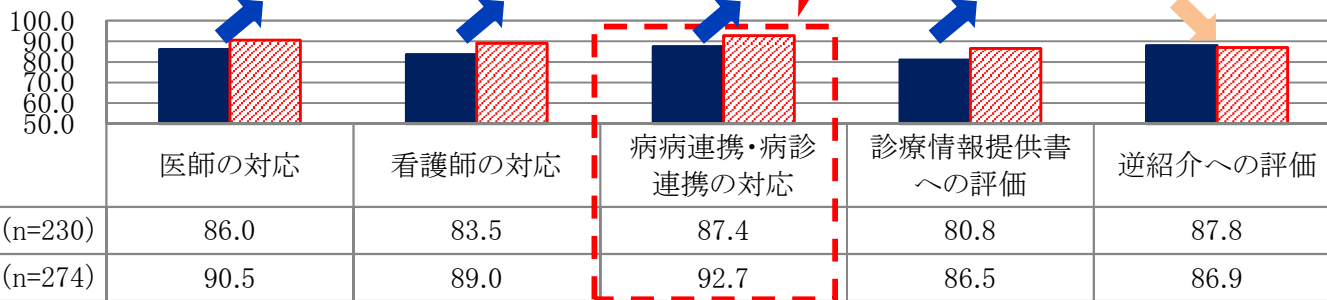
保健師の満足度は5項目中5項目で**上昇**しており、最も高いのは、「**電話交換手の対応**」(94.1%)で、最も低いのは「**医師の対応**」(85.3%)となりました。

【救急隊員の満足度】

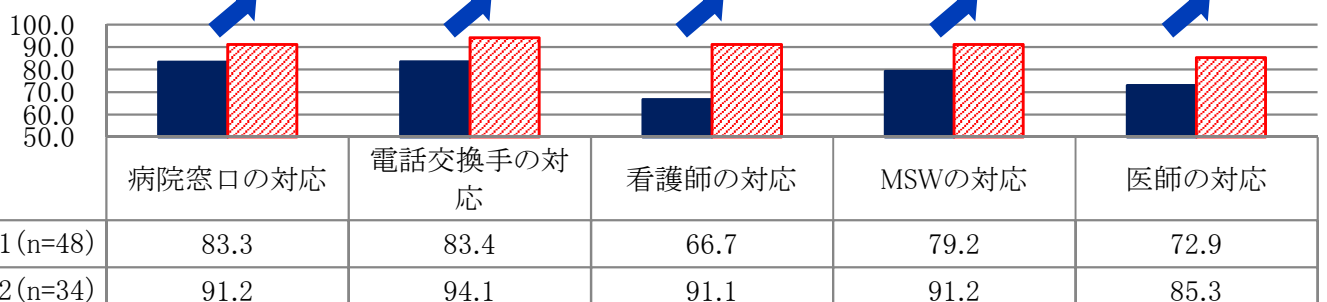
救急隊員の満足度は6項目中3項目で**上昇**しており、最も高いのは、「**看護師の対応**」(91.7%)で、最も低いのは「**患者搬送時の受入れ**」(72.2%)となりました。

医師の満足度

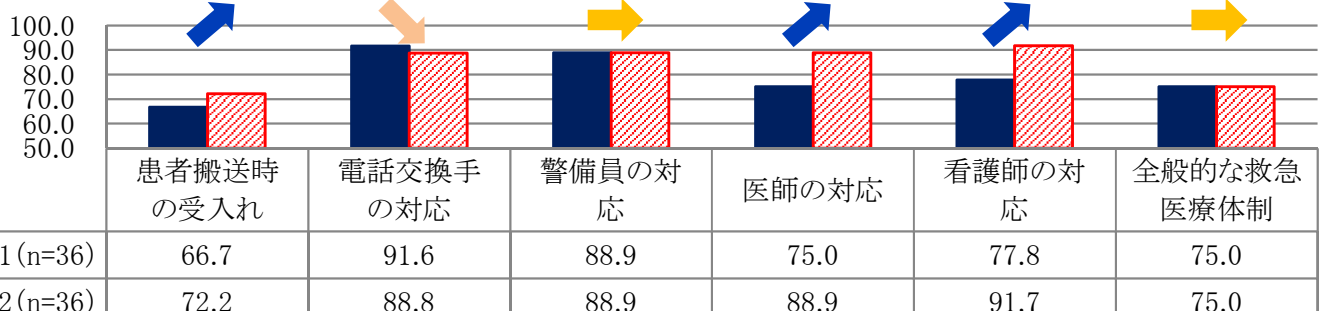
取組評価の指標



保健師の満足度



救急隊員の満足度



令和2年度職員意識調査 結果概要

調査概要

- (1)調査対象：全県立病院職員
- (2)調査方法：各病院にてアンケート用紙を配布・回収
- (3)調査期間：R2.9～10月
- (4)回答者数：3,820人（回収率82.5%）※R1：3,612人（回収率77.4%）

調査結果

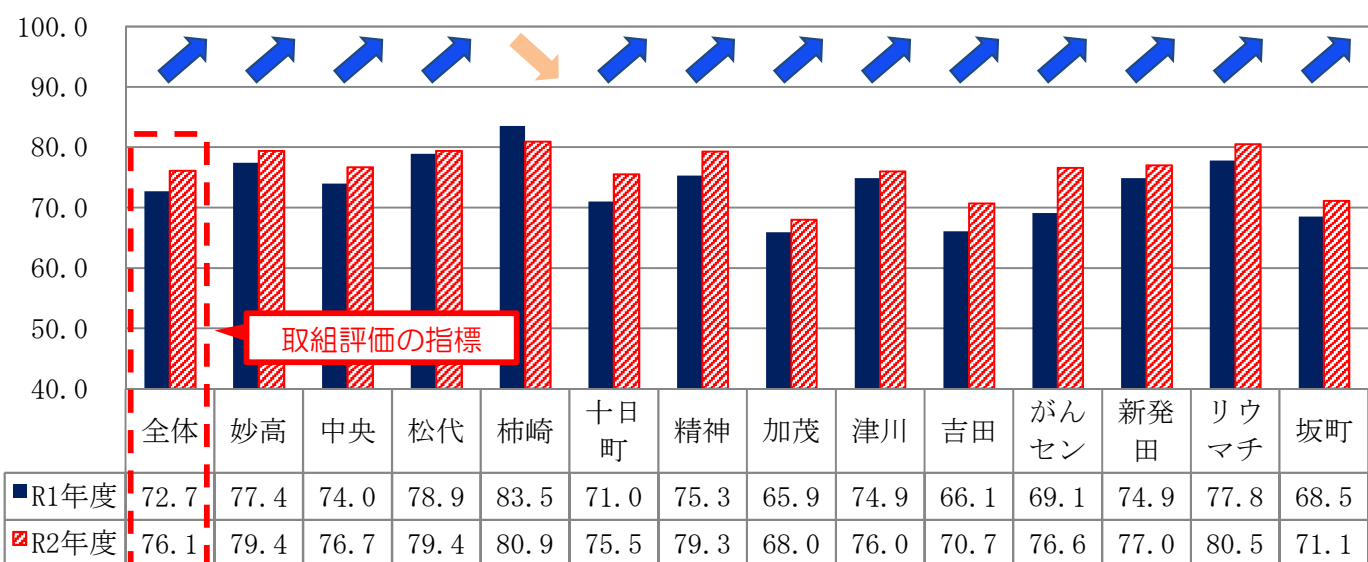
【総合満足度】

全体の総合満足度は、**76.1%**（R1：72.7%）と前回に比べ**上昇**しました。
病院別では、13病院中12病院で上昇、1病院で低下しました。

【項目別満足度】

項目別では、6項目上昇、全ての項目で上昇しました。

総合満足度



項目別満足度

